

株主の皆様とテクマトリックスを  
つなぐIRマガジン「テクマティズム」

TechM@trix

証券コード **3762**



第39期報告書  
2022年4月1日から2023年3月31日まで  
テクマトリックス株式会社

# TECHMATISM



テクマトリックスは、より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団として、最新のIT技術を活用し、企業のビジネスモデル変革と企業競争力の強化をサポートしています。

デジタル化社会を支える社会インフラとして安心・安全を確保するセキュアな情報基盤・セキュリティ製品・サービスを提供する「**情報基盤事業**」、誰にも使いやすい UI/UX を通してクラウド型業務アプリケーションを提供する「**アプリケーション・サービス事業**」、生活者一人ひとりの一生を支える医療情報インフラの構築を目指しアプリケーションやサービスを提供する「**医療システム事業**」の3事業によって成り立っています。

## TechMatrix

### 情報基盤事業

- 最先端のネットワーク/セキュリティ製品の提供
- 安全な情報基盤を構築
- 24時間365日の運用監視 サービスの提供

グループ会社



CROSS HEAD



情報セキュリティクラウドサービスを安全・快適に

### アプリケーション・サービス事業

#### CRM

- コンタクトセンター向け問合せ管理システムの提供
- FAQナレッジシステムの提供

#### ソフトウェア品質保証

- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの販売

#### ビジネスソリューション

- インターネットサービス、金融分野でのソリューション提供

#### 教育

- スクール・コミュニケーション・プラットフォームの提供

グループ会社



コンタクトセンター業務をよりスムーズに



交通機関の制御の安全性向上

### 医療システム事業

- 医用画像管理システム (PACS) の提供
- PHRサービスの提供
- 遠隔読影のプラットフォームを提供

グループ会社



PSP



A-line



つないで診よう  
医知悟LLC



M3 AI



医用画像管理を容易に安全に



最終年度を迎えた中期経営計画  
「BEYOND THE NEW NORMAL」。  
3つの事業がしのぎを削る  
新たな“マトリックス”が見えてきました。

代表取締役社長 由利 孝



## 当期(2023年3月期)を振り返って

国内の社会経済活動は正常化に向いつつあるものの、原材料費の高騰や不安定な国際情勢などの影響により、先行き不透明な状況が続きました。当社グループの事業領域では、サイバーセキュリティ対策分野やDX関連分野の事業拡大が続きました。

このような環境の中、当社グループは中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」の下、クラウド関連事業の拡大や、新たな事業セグメントとして独立した医療システム事業の強化などに挑みました。その結果、当期の売上収益および営業利益は大幅な増収増益となり、いずれも過去最高を達成することができました。

情報基盤事業では、引き続きサイバーセキュリティ対策に対するニーズが底堅く、クラウド型セキュリティ対策製品が牽引する形で、受注は堅調に推移しました。アプリケーション・サービス事業ではCRM分野が堅調だったほか、教育

分野も有名私立校などへの導入実績を順調に伸ばしました。医療システム事業は医療情報クラウドサービス「NOBORI」などが非常に好調で、計画を大幅に上回る成績となりました。



## 中期経営計画の進捗について

当社は現在、3年間の中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」に取り組んでいます。当期はその2年目として、引き続き、クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進や、セキュリティ&セイフティ(安全と安心)の追求といった従来からの中核的事業戦略に加え、新規事業分野の立ち上げや海外ビジネスの強化など、7つの基本戦略を展開しました。

急成長しているのが、医療システム事業です。子会社であるPSP株式会社を中心となって、医療分野に当社グループのデジタル技術を融合させることで、新たな医療DXマーケットを創出しており、クラウド型医用画像管理システム分野では圧倒的シェアで市場を牽引しています。教育分野で

## 決算ハイライト

### 当期業績のポイント

- 順調に受注が積み上がり売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の全ての指標において8期連続で過去最高を更新。売上収益は21期連続で増収。
- 配当金は当期業績の利益水準をふまえ、中間配当7円を実施、期末配当を16円とし、1株当たり23円(前期比3円増)を実施。

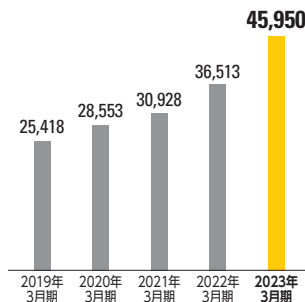
より詳細な財務情報は <https://www.techmatrix.co.jp/ir/library/>

テクマト IR

検索



### 売上収益(百万円)



も、教育機関向けクラウドサービス「ツムギノ」による市場の開拓が進んでいます。教育DXに先進的に取り組む学校への導入が相次いでいるほか、教材コンテンツとの連携も加速しており、今年1月には株式会社教育と探求社と資本・業務提携しました。同社は探求の学び(アクティブ・ラーニング)をサポートする教育コンテンツに強く、同社との協業によって、教育DXの推進に大きく貢献できると考えています。公



立学校への導入も加速させます。

海外ビジネスの強化については、タイ市場におけるCRM分野の開拓が進んでいます。現地の新興企業であるWiselight社やChoco Card社と資本・業務提携しており、今年4月にはタイに現地法人TechMatrix Asia Co., Ltdを設立いたしました。当面はタイやASEANでの顧客開拓に取り組み、ビジネスのグローバル化を推進します。

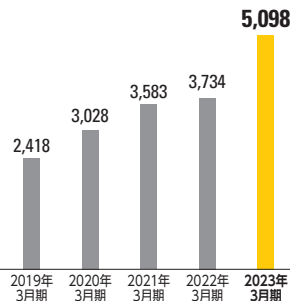
基本戦略に掲げるグループ間連携の強化や、人材育成と組織開発の推進に向けた大きな取り組みとして、昨年12月に本社所在地を東京・品川に移転し、グループ各社の本社機能を集約しました。リモート勤務が増える中、コラボレーションの場としてオフィスの役割を再定義するとともに、勤務時間や勤務地に縛られない柔軟な勤務制度も導入し、社員にとってより働きやすい環境を整えました。



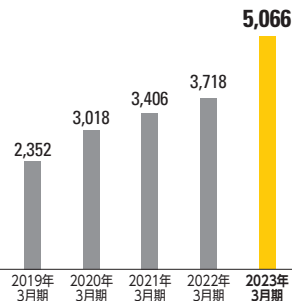
### 2024年3月期の事業計画

2024年3月期は、「BEYOND THE NEW NORMAL」

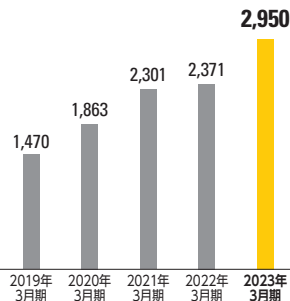
### 営業利益(百万円)



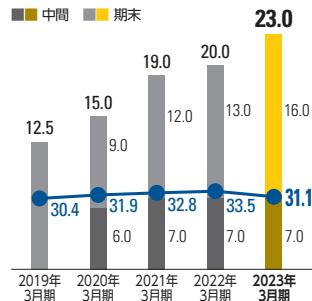
### 税引前利益(百万円)



### 親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)



### 1株当たり配当金(円) ● 配当性向の推移(%)



※2020年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。それに伴い、1株当たり配当金は過年度に遡及し調整しています。

※2021年3月期の有価証券報告書よりIFRSを適用しています。

※2020年3月期以前は日本基準、2021年3月期以降はIFRSに基づいて記載しています。

の最終年度として、3年間の総仕上げの年になります。事業環境が大きく変わることはない想定しており、売上収益は当期比7.7%増の495億円、営業利益は同4.0%増の53億円と予想しています。いずれも計画最終年度の目標数値を達成できる見通しです。

引き続き情報基盤事業ではサイバーセキュリティ関連需要を確実に取り込むとともに、アプリケーション・サービス事業や医療システム事業では、新規事業の育成に注力します。特に教育分野では、「ツムギノ」の公立学校への普及に向けた取り組みが加速しており、事業規模の拡大に備え体制強化を図っています。

次期中期経営計画については、3つの事業がそれぞれ大きな柱として並び立ち、切磋琢磨し合いながら成長していくというストーリーを描いています。その意味でも2024年3月期は、次につながる大切な1年になると考えています。



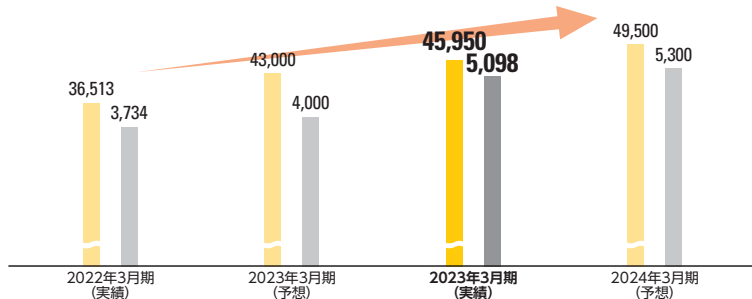
### 株主の皆様へ

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要課題と位置付けており、配当性向20%以上を基本方針としております。この方針に基づき、2023年3月期の年間配当金は中間配当7円と期末配当16円を合わせ、1株当たり23円とさせていただきます。年間配当金は前期比3円の増配となります。

DX時代の到来とともに、デジタルの力が社会に大きなインパクトを与えるようになりました。当社もデジタルというツールを駆使して、サイバーセキュリティや医療、教育といった社会性の高い分野に積極的に挑戦しています。今後は、当社が描こうとしている成長ストーリーをより多くの皆様に理解していただけるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

■ 中期経営計画の計画値と実績 (百万円) ■ 売上収益 ■ 営業利益



2023年3月期実績 (第39期)

2024年3月期計画 (第40期)

売上収益	全体	45,950百万円	49,500百万円
	情報基盤事業	29,305百万円	32,260百万円
アプリケーションサービス事業	7,300百万円	7,850百万円	
医療システム事業	9,344百万円	9,390百万円	
営業利益	全体	5,098百万円	5,300百万円
	情報基盤事業	3,125百万円	3,400百万円
	アプリケーションサービス事業	△20百万円	520百万円
	医療システム事業	1,993百万円	1,380百万円

### 基本戦略



クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進



セキュリティ&セイフティ(安心と安全)の追求

テーマ		自己評価	取り組み
コンテンツ戦略	1 取扱製品の拡大・新規サービスの立ち上げ	○	● クラウドネイティブ活用ソリューション「テクマトリックスNEO」、クラウド型ファイル無害化ソリューション「Votiro Cloud」など、5つの製品・サービスの取扱を開始
	2 サービス化の加速 (サービス比率拡大)	○	● 統合監視とインシデント対応支援サービス「TPS」の拡販 ● クラウド型コミュニケーションプラットフォーム+校務支援システム「ツムギノ」の導入校が私立・公立学校ともに拡大
	3 データの利活用 (AIの利用を含む)	○	● NOBORIとPSPの事業統合により、PACS事業、新規事業であるPHR事業・AI事業が加速
外部戦略	4 多様なアライアンス・M&A (既存事業の拡充と新規事業の創出)	○	● 探求型のキャリア教育プログラムを提供する教育と探求社と資本・業務提携 ● ヘルスケアITソリューション事業についてキャノンメディカルシステムズと協業 ● メドメインと資本・業務提携しデジタル病理の推進を加速
	5 海外市場での事業の拡大	△	● タイ現地法人TechMatrix Asiaを設立 ● Choco Card社(タイ王国・CDP大手)と資本・業務提携し、ASEAN地域での事業拡大を加速
内部戦略	6 グループ間連携の強化によるシナジーの創出	○	● 各グループ会社の本社機能の集約と併せて本社を移転 ● 四半期毎に開催するグループ経営会議をスタート
	7 人材育成/組織開発 (ダイバーシティの推進含む)	○	● D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)推進室を新設 ● フレックスタイム制度、時間単位有休の運用、勤務間インターバル制度、有休取得奨励日の導入を開始 ● 新人事制度の導入により、役割をベースとした人事等級制度の導入と、コンピテンシーによる人事評価の運用を開始



グループ各社の本社機能を集約

## 品川シーズンテラスに本社を移転

当社は、2022年12月、品川シーズンテラスに本社移転をいたしました。新拠点ではグループ会社5社の本社機能を集約し、グループ間の連携強化を図ります。

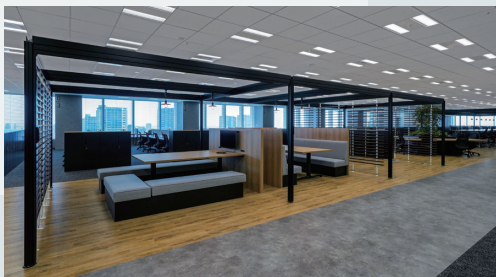
新オフィスでは、オフィスを創造的活動を促進する社員同士のコラボレーションの場として再定義し、在宅勤務の拡大も含めた、新しい働き方に対応したオフィス空間を構築しています。

さらに、新オフィスでは再生可能エネルギーを導入しており、これまで以上に、環境に配慮した事業活動を実現してまいります。



働く場所を選べる  
フリーアドレス

集まりやすい  
オープン会議  
エリア



### ■ 新住所

〒108-8588 東京都港区港南1丁目2番70号  
品川シーズンテラス(受付24階)

### ■ 本社移転会社

テクマトリックス株式会社  
クロス・ヘッド株式会社  
株式会社カサリアル  
アレクシアフィンテック株式会社  
PSP株式会社  
合同会社医知悟

情報基盤事業

## 「テクマトリックスNEO」をリリース

情報基盤事業では、クラウドネイティブ環境におけるシステムの構築から運用保守までをトータルに支援する、クラウドネイティブ活用ソリューション「テクマトリックスNEO」の提供を開始いたしました。本サービスでは、当社のソフトウェア開発支援やセキュリティの知見、グループ会社の株式会社カサレアルのクラウドネイティブの技術やIT研修の知見を融合し、システム開発から運用保守までをトータルに支援する「クラウドネイティブ活用のベストプラクティス」として、お客様に提案してまいります。

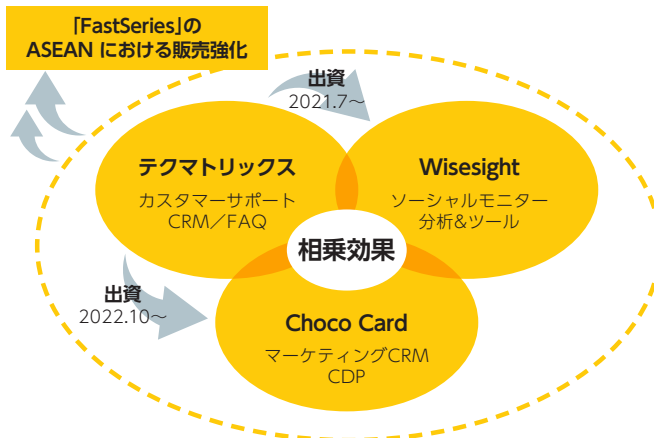


アプリケーション・サービス事業 CRM分野

## タイに現地法人TechMatrix Asiaを設立

CRM分野の海外事業の拡大を目的に、タイではCDP\*やマーケティングCRMの最大手であるChoco Card社と資本・業務提携を昨年10月に行いました。また、今年4月にはタイに現地法人TechMatrix Asia Co., Ltdを設立いたしました。今後、現地出資先とのコラボレーションを強化し、ASEAN地域におけるCRMソリューション事業の拡大を加速させてまいります。

\*CDP…Customer Data Platform





## 教育と探求社と資本・業務提携

教育分野では、今年1月に全国の中学・高校に「クエストエデュケーション」という探求型のキャリア教育プログラムを提供する、株式会社教育と探求社と資本・業務提携をいたしました。両社で教育機関向けに探求の学びをサポートする学習コンテンツやクラウドサービスの提供を推進してまいります。また、両社の強みを融合することで教育DXの推進を図り、学校教育のデジタル化にも貢献してまいります。

新学習指導要領における  
「主体的・対話的で深い学び」の実践と  
ともに教育DXを推進する

**教育と探求社**  
カリキュラムを提供

- ・企業探求コース
- ・進路探求コース
- ・起業家コース
- ・社会課題探求コース
- ・問い探求コース

**テクマトリックス**  
プラットフォームを  
提供

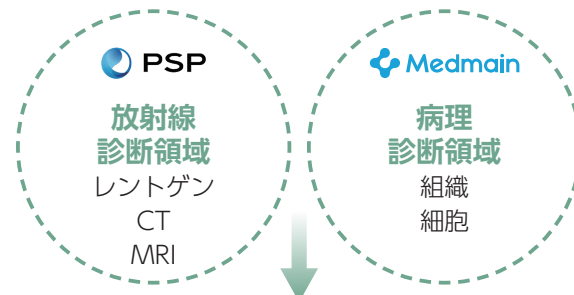
デジタルデバイスの  
有効活用や授業改善  
など教育環境の整備

## PSP、メドメインと資本・業務提携

連結子会社PSP株式会社は、デジタル病理領域の事業推進を加速するため、昨年7月にデジタル病理を支援するAI搭載クラウドシステムを開発・提供するメドメイン株式会社と資本・業務提携をいたしました。

この提携により、PSPが持つインフラ基盤やサービスとの連携を図るとともに、システムの開発・販売の協力など、それぞれの経営資源や強みを活かすことで、デジタル病理の発展に貢献してまいります。

- ・メドメイン…「病理診断関連技術(AI開発技術を含む)」
- ・PSP…「クラウドPACS」



病理クラウドPACS等の新たなシステム開発推進・拡販

## TCFD提言に基づく情報開示

[詳しくはこちら ▶▶▶](#)


当社は、地球環境の維持・保全が、グループ経営の持続的な発展と成長の基盤であるとの認識から、気候変動への対応を重要な経営課題の一つと位置付けています。このため、TCFDのフレームワークに沿って、気候変動が当社の事業に与える影響を分析し、リスクと機会を特定し、情報開示に努めています。

### 戦略

当社は、「気候変動」に対する企業の役割と責任を果たすことを重要な経営課題と捉え、中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」実現に向けた経営戦略と具体的な事業活動に連動させた対応計画を策定するとともに、その実現を阻害する可能性があるリスクを「重大なリスク」と認識し、対応計画を作成したうえで、確実な実行および継続的なモニタリングにより効果的かつ効率的にリスク総量をコントロールしています。

### 指標と目標

当社グループの事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量削減や、2050年カーボンニュートラルを達成させる目標を設定しています。

### GHG排出量目標

#### 目標

気候変動への対応は重要な社会課題であると認識し(2022年に)当社グループの事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量を2030年度\*1までに2020年比\*2で46%削減する目標を設定しました。

#### 目標値を設定した理由

- SBT基準(1.5°C) :  $\Delta 4.2\%/年 \times 10年 = \Delta 42\% \sim$
- 政府目標2020年  $\Delta 46\%$  (2013年比)

#### 対象範囲

#### 当社単体

※ 順次、連結対象会社を追加し対象範囲を拡大する予定(SCOPE1・2対象)

※1 目標年は目標設定年(2022年)の5~15年後に設定する必要があります。(ここでは、8年後の2030年と仮設定しています)

※2 基準年は目標設定年(2022年)以前で、データが擷取できている年を設定します。

### ネットゼロ目標

#### 目標

当社の事業活動に伴い排出されるGHGの内、約73%が電力由来、残り約27%が空調におけるガス利用から排出されるものです。これら電力やガスは主に事業所(本社・支社・営業所)で利用しています。今後、事業活動における電力は再生可能エネルギー由来に変更し、残るGHG排出はJクレジット・グリーン電力証書・非化石証書等の購入により相殺し、事業活動に伴う全てのGHG排出量について、2050年までにカーボンニュートラルを達成させる目標を設定しました。

#### 目標値を設定した理由

- SBT基準(1.5°C) :  $\Delta 4.2\%/年 \times 28年 = \Delta 117.6\% \sim$
- 政府目標2050年 カーボンニュートラル(ネットゼロ)

#### 対象範囲

全社(SCOPE1・2対象)

# 株主優待のご紹介

当社は、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待をご提供しています。

昨年度のお申込みは91.7%と、多くの株主様にご好評をいただいております。今後も継続して実施を予定しています。

## 対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

※11月頃に優待のお申込みのご案内を送付予定です。

## 優待内容

500株以上	1,500円相当の商品または寄付
1,000株以上	4,000円相当の商品または寄付

## 2023年度優待品

### 500株以上保有する株主様(1,500円相当)



雅和膳詰合せ



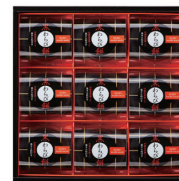
帝国ホテル  
カレーセット



フリーズドライ  
ギフト



ベルギーワッフルと  
焼き菓子セット



ひとつとえ  
黒わらび餅

### 1,000株以上保有する株主様(4,000円相当)



宮崎牛  
ステーキ用



デミグラス  
ハンバーグ



いくら醤油漬



日本海甘えび



神戸スイーツ  
牧場アイスクリーム

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

## ● 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社  
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)  
設立 1984年8月30日  
上場 2005年2月18日  
証券コード 3762  
資本金 12億9,812万円  
従業員数 1,582名(連結)  
本社所在地 〒108-8588 東京都港区港南1丁目2番70号  
品川シーズンテラス 24階  
TEL : 03(4405)7800(代表)  
FAX : 03(6712)3160

## ● 役員の状況

代表取締役社長 由利 孝  
取締役専務執行役員 依田 佳久  
取締役専務執行役員 矢井 隆晴  
取締役常務執行役員 鈴木 猛司  
社外取締役 安武 弘晃  
社外取締役 海部 美知  
社外取締役 堀江 愛利  
社外取締役(常勤監査等委員) 佐々木英之  
社外取締役(監査等委員) 高山 健  
社外取締役(監査等委員) 三浦 亮太  
社外取締役(監査等委員) 杉原 章郎

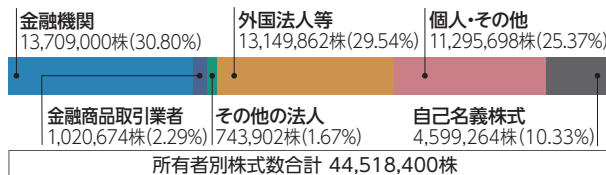
## ● 株式の状況

発行可能株式総数 165,888,000株  
発行済株式の総数 44,518,400株  
株主数 8,374名

## ● 大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,599,700	14.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,195,800	13.91
テクマトリックス株式会社	4,599,264	10.33
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	3,286,500	7.38
徳山 教助	1,426,000	3.20
GOVERNMENT OF NORWAY	1,359,500	3.05
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 009-016064-326 CLT	1,077,300	2.41
テクマトリックス従業員持株会	813,000	1.82
KIA FUND 136	589,800	1.32
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	581,800	1.30

## ■ 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 3月31日  
配当金 9月30日  
3月31日  
株主優待 9月30日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <https://www.techmatrix.co.jp/>



テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区港南1丁目2番70号 品川シーズンテラス 24階  
TEL : 03(4405)7800(代表) FAX : 03(6712)3160

